

各 位

会 社 名 株式会社TSIホールディングス
 代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 下地 毅
 (東証プライム市場 コード番号 3608)
 問 合 せ 先 経営戦略部 財務広報 IR 課 長谷川 俊介
 T E L 03(5785)6400

**一般財団法人 TSI ファッション未来財団の設立及び
 第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ**

当社は、本日開催の取締役会において、一般財団法人 TSI ファッション未来財団（以下、本財団）を設立するにあたり、本財団の活動を継続的・安定的に支援する目的で第三者割当による自己株式の処分（以下、本自己株式処分）を行うことを決議しましたので、お知らせいたします。

なお、本財団の設立及び本自己株式処分は2026年5月22日開催予定の第15期定時株主総会における特別決議の承認を条件として実施するものといたします。

記

1. 本財団の設立について

(1) 財団設立の目的

TSI ホールディングスは「ファッションエンターテインメントの力で、世界の共感と社会的価値を生み出す。」というパーパスのもと、ファッションを原動力に街に彩りと、人々にエネルギーとパッションをもたらすべく、すべての事業活動を行っています。

当社は、お客様のニーズにお応えする製品を通じて、ファッションを通じた幸福をお届けし続けるためには、持続的にファッションを楽しむことができる社会や文化が醸成される必要があると考えています。そこで、企業としての活動だけではなく、ファッションに関わる社会課題に財団と両輪で取り組むことで、より多くの人々がファッションを楽しめる社会づくりをしていくことを目的に、本財団の設立を決定いたしました。

本財団は未来のアパレル産業やファッション文化形成を牽引する次世代のクリエイターの育成や、環境・生物多様性の保全、健全な社会を支える地域社会の活動を高い公益性を持って行い、ファッションを楽しむ豊かな文化が育まれた社会づくりに貢献し、持続的な企業価値向上を図りたいと考えています。

(2) 本財団の概要

①	名称	一般財団法人 TSI ファッション未来財団
②	所在地	東京都港区赤坂8丁目5番27号
③	代表理事	下地 毅（予定）
④	活動内容	(a) 奨学金・助成金を通じた次世代育成の活動 (b) 生物多様性に関する活動 (c) 地域社会の活動
⑤	活動原資	年間約40百万円（初年度予定）
⑥	設立年月	2026年6月（予定）
⑦	その他	本財団が保有する当社株式の議決権は行使しない旨を定款に記載予定

2. 本自己株式処分について

(1) 処分要領

①	処分期日	未定
②	処分株式数	当社普通株式 630,000 株（発行済株式総数の 0.99%）※
③	処分価額	1 株につき 1 円
④	調達資金の額	630,000 円
⑤	募集又は処分方法	第三者割当による自己株式の処分
⑥	処分予定先	一般財団法人 TSI ファッション未来財団
⑦	その他	本自己株式の処分については、金融商品取引法に基づく有価証券通知書を提出しております。本自己株式の処分については、2026 年 5 月 22 日開催予定の第 15 期定時株主総会において有利発行に係る特別決議承認を条件といたします。処分に係る他の事項は、当該株主総会後における取締役会において決議いたします。

※2026 年 2 月末現在の発行済株式総数（自己株式含む）63,438,793 株に対する割合

(2) 処分の目的及び理由

本財団の活動を継続的、安定的に支援することにより、ファッション産業全体の市場成長、人的資本の拡大が見込まれ、当社のブランド価値や強固なサプライチェーンの構築など、当社の企業価値向上にも貢献することが期待できると考えています。以下の具体的な活動により、当社グループの持続的かつ長期的な成長と、中長期的な企業価値向上に繋がるものと考えています。

①活動内容

(a) 次世代育成の活動

(ア) 奨学金事業

ファッション文化の発展に寄与する人材の育成を目的とした、次世代クリエイターを対象とした奨学金給付事業

(イ) 助成金事業

ファッション文化を牽引する若者の支援を目的とした助成事業

(b) 生物多様性の活動

生物多様性等の環境保全・再生に寄与する取り組みの支援

(c) 地域社会の活動

ファッションを楽しむ健全な地域社会貢献や人道的支援

②企業価値向上との関係

本財団の活動により、長期的なファッション文化の醸成に寄与し、以下の企業価値向上に貢献します。

(a) パーパスを実現することによる長期的な企業価値向上

(b) 将来的なファッション産業をリードする人財によるブランドづくりで創出される経済効果の向上

(c) 活動地域におけるファッション文化の醸成を通じたアパレル市場の成長

(d) 財団活動の従業員への共感創出を生み、優秀人財の獲得や従業員エンゲージメントの向上の実現

(e) 活動発信を行い、支援を受ける人によるインフルエンサー効果でのリファレンス向上

(3) 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

①調達する資金の額

(a) 払込金額の総額	630,000 円
(b) 発行諸費用の概算額	0 円
(c) 差引手取概算額	630,000 円

②調達する資金の具体的な使途

上記差引手取概算額については、本財団の本スキームの構築に必要な諸費用に充当する予定です。

(4) 資金使途の合理性に関する考え方

調達した資金は本スキームの構築の検討に要した諸費用への充当を予定しています。各諸費用は、本スキームの構築に必須のものであり、当該資金使途には合理性があるものと考えております。

(5) 処分条件等の合理性

①払込金額の算定根拠及びその具体的内容

本自己株式処分は本財団の活動支援を目的としたものであり、調達する資金も上記(3)②のとおり本スキームの構築に必要な諸費用に充当することを予定しております。このため、1株1円という処分価格は合理的と考えております。なお、本自己株式処分は、本財団に対する有利発行に該当するため、2026年5月22日開催予定の第15期定時株主総会において有利発行に係る特別決議承認を条件としております。

②処分数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本財団の事業を継続的、安定的に実施していくにあたり、活動支援の原資となる処分数量の規模は合理的であるとと考えております。加えて本スキームでは、当面は本自己株式処分による株式が株式市場へ流出することは考えられないため、本自己株式処分による流通市場への影響は軽微であることから、当該処分数量のレベルは合理的であるとと考えております。

また、本自己株式処分におけるその希薄化の規模は、発行済株式の総数63,438,793株に対し0.99%（小数点以下第三位を四捨五入）と小規模なものであるため、株式市場への影響は軽微であるとと考えております。

さらに、本日別途お知らせしております「自己株式の取得に係る事項の決定及び自己株式の消却に係る事項の決定に関するお知らせ」で公表した通り、本自己株式処分を上回る自己株式を追加取得する計画としており、株式の希薄化に対処する措置を講じる予定です。

以上を総合的に勘案して、本自己株式処分による株式の希薄化の規模については合理的であると判断しております。

(6) 処分予定先の選定理由等

①処分予定先の概要

上記「1. (2) 本財団の概要」の記載内容をご参照ください。

②処分予定先を選定した理由

上記「2. (2) 処分の目的及び理由」に記載の通り、当社は、本財団による次世代クリエイターへの支援等が、中長期の観点から当社グループの企業価値向上に資すると考え、本財団を処分先とすることが妥当と判断し選定いたしました。

③ 処分予定先の保有方針

本財団は、当社普通株式からの配当を主な活動原資とすることから長期的に継続して保有する方針です。また、割当日より 2 年以内に、当該割当株式の全部又は一部を譲渡した場合には、直ちに譲渡を受けた者の氏名及び住所、譲渡株式数、譲渡日、譲渡価額、譲渡の理由、譲渡の方法等を当社に書面にて報告すること、当社が当該報告内容を東京証券取引所に報告すること、並びに当該報告内容が公衆縦覧に供されることについて同意する旨の確約書を本財団より取得する予定です。

なお、本財団は、当社株式の議決権を将来にわたって行使いたしません。(定款にも記載予定)

④ 処分予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

本財団設立時の当社からの寄付金を原資とし、金銭をもって払い込みを行います。

(7) 処分後の大株主及び持ち株比率

株主名	処分前持株比率 (%) (2026 年 2 月 28 日現在)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	13.70	13.56
(株)アルペン	6.09	6.02
日本生命保険 (相)	5.88	5.82
(株)みずほ銀行	4.98	4.93
住友不動産(株)	4.32	4.27
(株)三井住友銀行	3.70	3.67
(株)日本カストディ銀行 (信託口)	3.51	3.47
(有)理貴	3.07	3.04
長谷川文彦	2.77	2.74
三宅正彦	1.86	1.84

(注) 処分前持株比率は、発行済株式総数 63,438,793 株から自己株式 4,349,296 株を控除して算出し表示しています。

処分後の持株比率は、2026 年 3 月 31 日現在の発行済株式数を基準に本自己株処分による株式数の増減を考慮しております。

(8) 今後の見通し

今後の当社業績に与える影響については、軽微であると認識しております。開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

(9) 企業行動規範上の手続きに関する事項

本件第三者割当は、①希薄化率が 25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、東京証券取引所の定める上場規定第 432 条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

(10) 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

①最近3年間の業績（連結）

	2024年2期	2025年2期	2026年2期
連結売上高	155,383百万円	156,606百万円	167,085百万円
連結営業利益	1,760百万円	1,636百万円	4,325百万円
連結経常利益	3,758百万円	2,076百万円	5,440百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,849百万円	15,230百万円	3,793百万円
1株当たり連結当期純利益	59.97円	210.02円	60.48円
1株当たり配当金	15円	65円	40円
1株当たり連結純資産	1,287.25円	1,553.70円	1,704.79円

②最近の株価の状況

(a) 最近3年間の状況

	2024年2月期	2025年2月期	2026年2月期
始 値	614円	655円	1,211円
高 値	881円	1,352円	1,270円
安 値	582円	633円	939円
終 値	655円	1,199円	1,151円

(b) 最近6か月間の状況

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
始 値	1,056円	950円	989円	1,047円	1,068円	1,127円
高 値	1,056円	1,000円	1,090円	1,124円	1,164円	1,127円
安 値	943円	939円	975円	1,022円	1,060円	1,021円
終 値	957円	989円	1,044円	1,053円	1,151円	1,063円

(c) 処分決議日前営業日における株価

	2026年4月9日
始 値	1,117円
高 値	1,125円
安 値	1,108円
終 値	1,113円

③最近3年間のエクイティ・ファイナンス状況

該当事項は有りません

以 上



一般財団法人TSIファッション未来財団の設立に向けた想い ～第15期定時株主総会 付議予定の議案に関する補足資料～

株式会社TSIホールディングス（証券コード：3608）

2026年4月10日



TSIホールディングスグループ
経営理念
財団設立に向けた想い

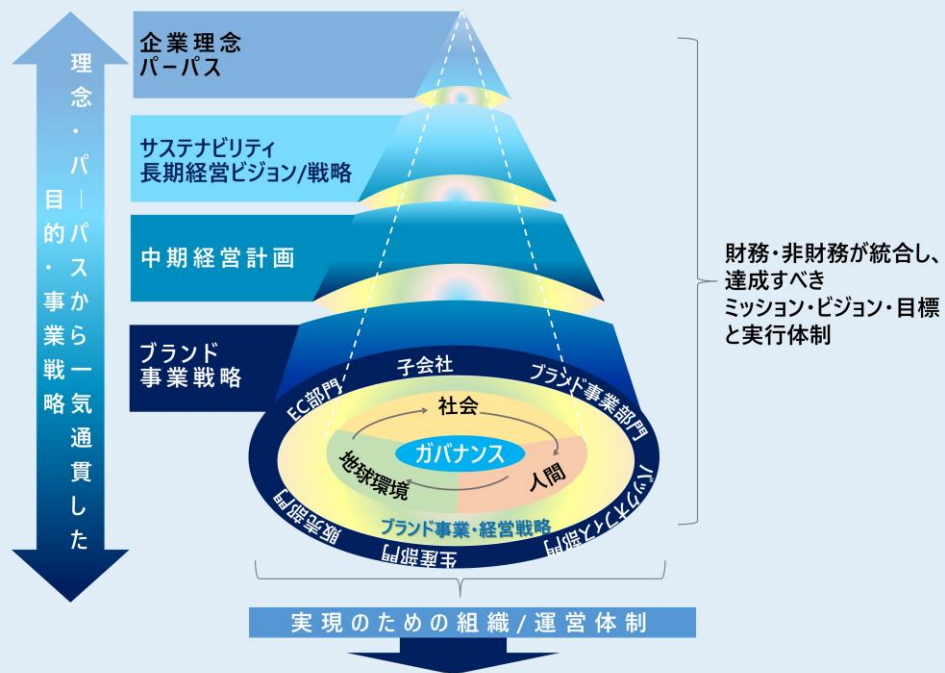
財団設立に向けた想い

- TSIホールディングスは、「ファッションエンターテインメントの力で、世界の共感と社会的価値を生み出す」というパーパスのもと、事業活動を通じて社会に価値を提供することに加え、事業活動における負の影響を適切に把握・最小化し、サステナブルな経営の実現に取り組んでおります。
- 一方で、ファッション産業の未来を形づくるためには、事業活動の枠組みだけでは十分に支えきれない「公益性の高い領域」への継続的な投資が重要であり、企業から独立した組織である財団を設立し、財団を通じた活動を行うことで、ファッション産業全体の成長が実現可能と考えています。
- **企業と財団が両輪でそれぞれの役割を果たし、結果として当社の中長期的な企業価値向上につながる、新たな価値創造の仕組みの実現を目指します。**

経営理念・パーパス

当社は経営理念のもと、「ファッションエンターテインメントの力で、世界の共感と社会的価値を生み出す。」をパーパスとして事業を展開

TSIホールディングスグループのサステナビリティ経営



持続可能な成長を生むビジネス

経営理念

私たちは、ファッションを通じて、人々の心を輝かせる価値を創造し、明日を生きていく喜びを、社会と共に分かち合います。

Purpose

ファッションエンターテインメントの力で、世界の共感と社会的価値を生み出す。

Vision

時代の流れを先取りする、最高のクリエイションとライフスタイル提案を通じて、世界で最も愛されるグローバルグループを目指します。

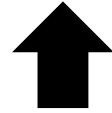
TSIの目指す方向性

当社は衣服を単に機能として「着る」だけでなく、「着飾る」「楽しむ」を通じて幸せや喜びを感じていただける「ファッションエンターテインメント」として提供することを目指す

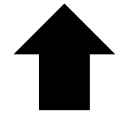
TSIが目指す方向性



コミュニティの創生
Community



健康・幸せにつながる
ファッション
Well-being



美や個性による
自己実現
Self-realization

ファッションを原動力に街に彩りを、人々にエネルギーとパッションをもたらす
ファッションエンターテインメント創造企業

財団の概要

名称	一般財団法人TSIファッション未来財団
目的	未来のアパレル産業を牽引する次世代クリエイターの育成や、健全な社会を支える環境保全等の社会貢献活動を高い公益性を持って行い、ファッションを楽しむ豊かな社会づくりに貢献することを目的とする。
概要	代表理事：下地毅 活動内容：1. 次世代育成の活動 (1)奨学金事業 (2)助成金事業 2. 生物多様性の活動 3. 地域社会の活動 設立年月日：2026年6月（予定） 事業年度：5月1日から4月30日（予定）
	処分株式数 630,000株（2026年2月28日時点、発行済株式総数63,438,793株の0.99%）
	処分価額 1株につき1円

財団での活動を通じた企業価値向上への貢献

本財団の活動を通じてファッション産業全体の市場成長、人的資本の拡大が見込まれ、
当社のブランド価値や強固なサプライチェーンの構築など当社の企業価値向上にも貢献することが期待できる

財団活動を通じた当社パーパスの実現、企業価値向上への貢献

当社パーパスの実現

ファッションエンターテインメントの力で、世界の共感と社会的価値を生み出す。

企業価値向上への貢献

市場成長	<ul style="list-style-type: none">✓ 財団の助成事業を通じた技術革新等によるファッション産業全体の発展、成長✓ 活動を通じ、ファッションに興味を持つ顧客やファッションを楽しむ顧客が増加し、売上・収益機会の拡大に貢献
人的資本	<ul style="list-style-type: none">✓ 財団のプログラムを通じて育成された人材が、ファッション産業に関わることで、産業全体の人的資本が拡大✓ また、将来の顧客・パートナー・従業員・ブランドアンバサダーとして当社と関わる可能性も拡大
ブランド価値	<ul style="list-style-type: none">✓ 当社パーパスを体現する活動の継続的な発信により、顧客・投資家・取引先等、あらゆるステークホルダーからの共感・信頼を醸成
サプライチェーン	<ul style="list-style-type: none">✓ 地域コミュニティへの支援を通じ、地域や取引先とのリレーションを強化、強固なサプライチェーンの構築に貢献

なぜ財団での活動を行うのか

財団で社会貢献活動を実施することで、公益性の高い社会貢献活動を安定的、継続的に実施することが可能

活動費を配当で賄うことで、当社の経営状況に左右されず、ファッション産業の発展に向けた活動を安定的に実施可能

企業で活動を行う場合

- その時々業績、経営環境、経営者の考え方等に左右され、社会貢献活動を安定的に継続できない可能性
- 株式会社として収益性を追求すべきであるという使命から、事業活動の選択に恣意性が生じ、真に公益性の高い活動ができなくなる可能性

財団で活動を行う場合

- 企業からは独立した組織として、当初の設立目的に沿った公益性の高い社会貢献活動を安定的、継続的に実施できる
- どれだけ設立目的の実現に近いかが、という軸で事業活動を選択することができる

また、活動費は当社からの配当で賄うことを予定

活動費を寄付で賄う場合

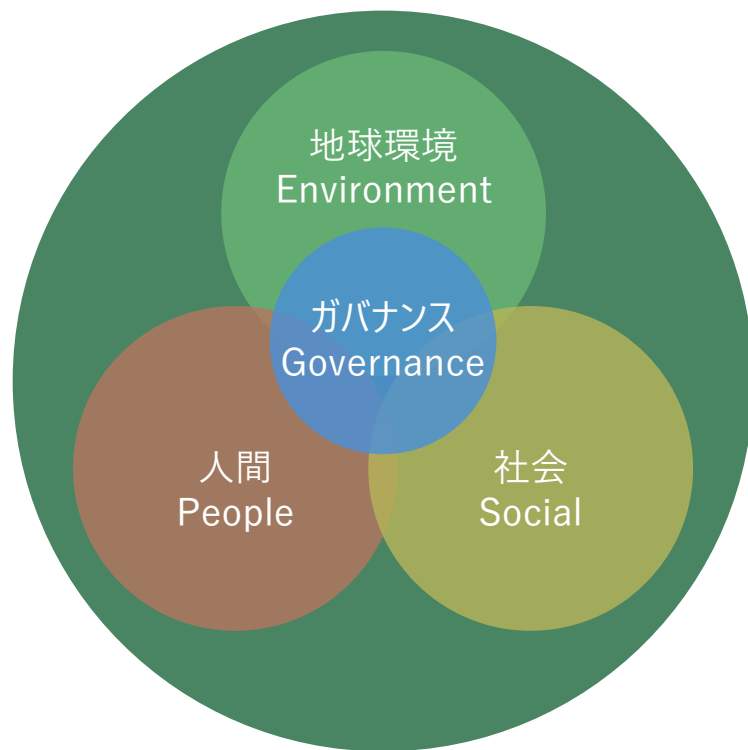
- その時々業績、経営環境、経営者の考え方等に左右され金額が変動、社会貢献活動を安定的に継続できない可能性
- 当社のP/Lにも影響

活動費を配当で賄う場合

- 経営状況に左右されず、安定的な活動原資が期待できる
- 資本市場との対話の結果としての株主還元施策が、株主への直接的な利益還元のみならず、財団での社会貢献活動を通じて、当社の中長期的な価値向上につながることを期待できる

TSIのマテリアリティ

財団法人の活動内容は当社のマテリアリティである「生物多様性」「地域社会との協創」「次世代育成」「社会との支援」に関連性が高い

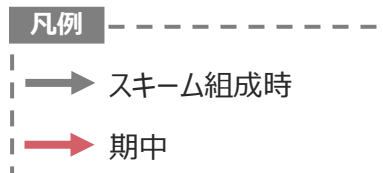
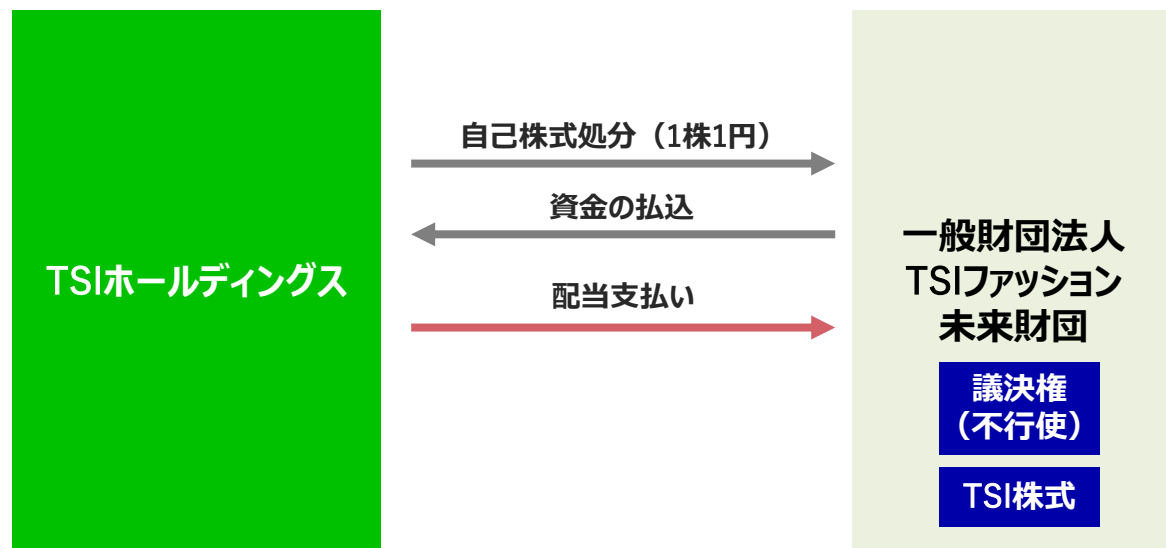


領域	マテリアリティ	目標	
地球環境	1 エネルギー	長期	<ul style="list-style-type: none"> 2050年にカーボンニュートラルの実現 GHG排出量の実質ゼロ実現
		中期	<ul style="list-style-type: none"> スコープ1&2：2031年2月期までに48%削減 スコープ3：2031年2月期までに35%削減
	2 原材料	短期	TSIが定義する低環境負荷素材2027年2月期までに全商品で3%使用
		中期	TSIが定義する低環境負荷素材2031年2月期までに全商品で20%使用
	3 廃棄物	-	衣料品廃棄ゼロ
	4 水資源	短期	2027年2月期までに原材料の水使用量を2020年2月期比で50%削減
		中期	2031年2月期までに原材料の水使用量を2020年2月期比で60%削減
	5 生物多様性	-	原材料生産地の生物多様性保全と再生
人間	6 ダイバーシティ	短期	<ul style="list-style-type: none"> 2027年2月期までに管理職の女性比率を35% 2027年2月期までに上級管理職の女性比率を20%
		中期	<ul style="list-style-type: none"> 2031年2月期までに管理職の女性比率を40% 2031年2月期までに上級管理職の女性比率を30%
	7 健康・安全	-	健康診断ならびにストレスチェック受診率100%
	8 従業員幸福度	短期	2027年2月期までに1人あたり年間総研修時間7時間
		中期	2031年2月期までに1人あたり年間総研修時間10時間
9 公正な労働	-	<ul style="list-style-type: none"> 労働組合加入率100% 「取引先行動規範」の確認書回収率100% 取引額上位80%の企業に対し書面監査実施100% 	
社会	10 地域社会との協創	-	地域包括協定自治体とのサステナビリティイベント実施
	11 次世代育成	-	サステナブルファッション寄付授業の実施
	12 社会との支援	-	ファッションを通じた社会的困難者への支援

スキーム概要

本財団へ自己株式を割り当て、配当を原資に継続的・安定的に活動ができるスキームを構築

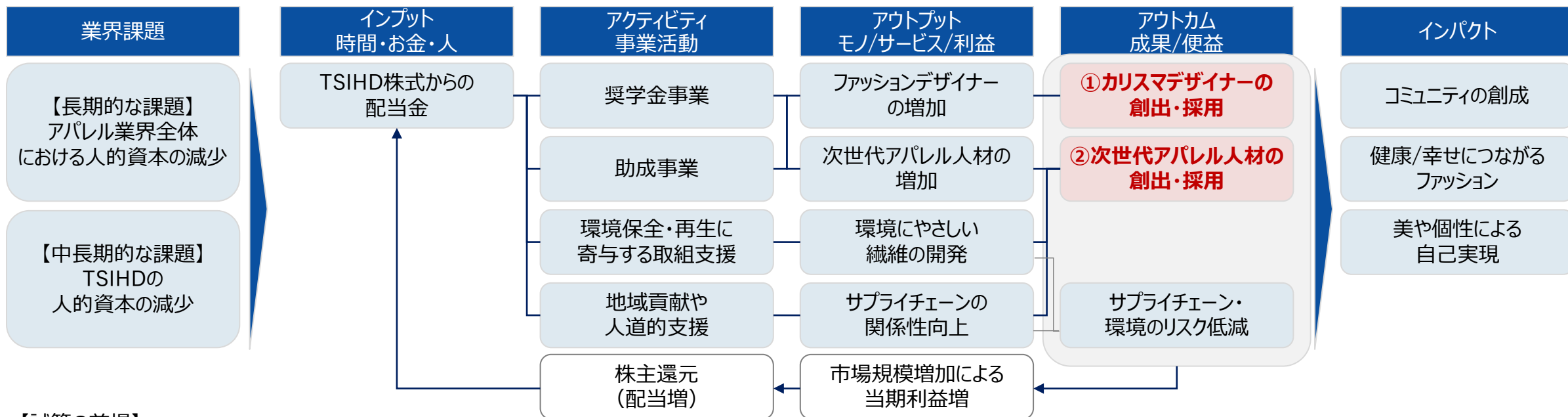
安定株主対策や買収防衛策の一環であるとの懸念を払拭する観点から、本財団に割り当てる自己株式の議決権は不行使



処分株式数	普通株式630,000株（発行済株式総数の0.99%）
処分価額	1株につき1円
調達資金の額	630,000円
募集又は処分方法	第三者割当による処分
処分予定先	一般財団法人TSIファッション未来財団
処分期日	未定
その他	本自己株式処分については、金融商品取引法に基づく有価証券通知書を提出しております。また、2026年5月22日開催予定の第15期定時株主総会において有利発行に係る特別決議を経ることを条件といたします。処分に係る他の事項は、当該株主総会後における取締役会において決議いたします。

財団活動を起点とした企業価値向上のイメージと簡易試算

業界全体の課題である人的資本の減少を財団活動を通じて解決し、将来的には約4,800百万円の株主価値の創出を見込む



【試算の前提】

- ①奨学金事業の活動により5年で50人のデザイナーを創出しうち1人が入社。
- ①入社したデザイナー1名がブランドを立上げ、3,000百万円の売上を創出。
- ②助成事業の活動により5年で2,500人の次世代アパレル人材を創出し、100名が入社。
- ②入社した次世代アパレル人材100名が4,000百万円の売上を創出。
- 営業利益率8%と仮定。現時点のPER12倍を乗じて、時価総額インパクトを試算。

- ①入社したデザイナー1名がブランドを立上げ、3,000百万円の売上を創出。
- ②入社した次世代アパレル人材100名が4,000百万円の売上を創出。



株主との対話を通じた対応

希薄化への影響を最大限軽減することを考慮し、財団への割り当て規模を1%未満とし、併せて自己株式取得枠を設定。

安定株主作りや買収防衛策への懸念を払拭するために財団に割り当てる自己株式の議決権は将来にわたって不行使とする。

希薄化への対応

- ▶ 株式希薄化の影響を最大限軽減する目的で、財団への割当規模は、発行済株式総数に対し0.99%と小規模。
- ▶ 株式市場への影響を踏まえ、同日公表の「自己株式の取得に係る事項の決定及び自己株式の消却に係る事項の決定に関するお知らせ」の通り、希薄化対応として自己株式取得枠を設定。

議決権

- ▶ 本一連の取引が、安定株主対策や買収防衛策の一環であるとの懸念を払拭する観点から、本財団が議決権を将来にわたって不行使とするために、財団法人の定款において議決権不行使の旨を明記。

ファッションエンターテインメントの力で、
世界の共感と社会的価値を生み出す。

ファッションエンターテインメント創造企業
TSI HOLDINGS GROUP